

『たるたる』 正面玄関でお出迎え



11月9日に、市長室で、『たるたる』のモニュメントの贈呈が行われました。これは、合同会社いぶきが経営する『福祉サポートセンターきらら』の利用者の方々が作成したものです。ペーパーフラワーを約200個組合せて作成されており、『たるたる』の愛くるしさが上手に表現されています。関係者は「みんなで力を合わせて、作成しました。ぜひ、多くの方にみてもらいたいです」と話しました。今回、頂いたモニュメントは垂水市役所の正面玄関入口に12月末まで、展示されています。是非、ご覧ください。

千本イチョウに おじゃったもんせ



11月7日、千本イチョウ園で、清掃ボランティア活動が行われました。これは、これから見頃を迎える千本イチョウを多くの方々に楽しんでもらおうと水之上地区が企画したものです。当日は、水之上小学校の児童、同地区の有志の方等、約150人が参加し、園内の草払いや除去を行いました。参加者は「多くの人に千本イチョウを楽しんでいただき、水之上地区に活気が溢れたら嬉しいです」と話しました。今年は台風の影響による落葉も少なく、見事に黄葉したイチョウを見れるのではないのでしょうか。

美しい景観を守る為 海岸清掃ボランティア



11月3日、道の駅たるみずはまびら前の海岸で、海岸清掃ボランティアが行われました。これは、同道の駅に隣接するホテル建設に携わる鴻池組（こうのいけぐみ）や工事関係者の方々が、美しい景観を守るために、地域貢献活動の一環として企画したものです。当日は13名が参加し、流木やペットボトル等のゴミを回収しました。工事所長の下田さんは「休憩中に眺める海岸の景色がとても美しいです。今後も地域の為に清掃活動を継続していきたいです」と話しました。参加された皆さんの善意に感謝いたします。

日本一の生産量の凄さ 迫力にびっくり！



11月1日、海潟漁港で、協和小学校の5・6年生15名が、カンパチの餌やりを体験しました。これは、総合的学習で錦江湾を学び、地元のことを深く知することを目的に同小学校が企画したものです。当日は、養殖漁業者の方々から、カンパチ養殖の説明を受け、餌やりを体験しました。参加した児童は「普段陸から見ている生簀の中に、たくさんのカンパチが泳いでいて、迫力があって、びっくりしました」と話しました。日本一の生産量を誇る地元の漁業を体験して、児童たちは目を輝かせていました。

11月11日、松ヶ崎小学校で、『地域が育む「かごしまの教育」県民週間に関する標語』の表彰式が行われました。県教育委員会が同週間を幅広く普及させ、全県的な活動を推進する目的で、県内の小・中・高校生を対象に作品を募集し、本市から清水謙信さん（同小・4年）の「ちいきと共に歩もう学ぼうけんみん週間」が特選に選ばれました。清水さんは「とてもうれしいです。地域の皆さんと一緒に学ぶと楽しいのでこの標語を考えました」と話しました。



標語コンクール
特選受賞

11月5日、水之上小学校で、フラワーデザイン体験学習が行われました。これは、県フラワー協会が花き生産の実態等の理解、生活での花きに対する関心等を高めてもらおうと『花とふれあい事業』の一環として企画したものです。当日は、5・6年生の児童が参加し、河野講師の指導のもと、各児童が作品を作りました。児童からは「全体のデザインを考えながら、作るのが楽しかったです」と話がありました。教室は児童の笑顔と綺麗な花で飾られていました。



日常に
お花を添えて